

本日は、12月14日(日)に開催する公開講演会「外国人労働者受け入れ制度転換期における日本語教育の課題と展望ーベトナム出身の技能実習生に対する調査からー」をご案内いたします。

日本の外国人労働者受け入れ制度は現在、大きな転換点を迎えている。新制度では日本語教育の重要性がこれまで以上に強調され、来日前から就労期間中までを通じた学習継続の枠組みが整備されつつある。しかし、こうした制度設計が実際に当事者の言語生活や学習環境をどの程度反映しているのかについては、なお検討の余地がある。本講演では、長年日本の外国人労働者受け入れの中心的役割を担ってきた技能実習制度に焦点を当て、ベトナム出身技能実習生の日本における言語生活および日本語学習の実態を明らかにした著書の内容を紹介する。併せて、この夏に実施したベトナム現地の送り出し機関における日本語教育の実践に関する新たな調査結果についても報告する。これらの知見を踏まえ、外国人労働者を取り巻く日本語教育の課題と、日本社会がどのような言語環境を構築すべきかについて、参加者とともに議論する機会としたい。

(画像をクリックすると21世紀懐徳堂イベント情報へリンクいたします。)

「ベトナム探究によろこそ」講座第2回講演会 2025@大阪大学

日 時：2025年12月14日（日）10：00～12：00（受付・開場 9:45）

形式：ハイブリット（対面及びオンライン）

会 場：大阪大学箕面キャンパス 5F 523+524 講義室（大阪府箕面市船場東3丁目5-10）

料 金：無料

定 員：60名（事前申込・先着順）※定員になり次第締め切り

申込：以下の URL または左の QR コードよりお申込みください

<https://forms.gle/G4dzTxnQa3J2Sick7>

なお、**オンライン参加の方は12月12日（金）正午まで**にお申込ください

トーク登壇者：

道上史絵（日本語教育学／立命館大学理工学部 准教授）

登壇者プロフィール：

道上史絵（みちがみ・ふみえ）

専門は日本語教育学および社会言語学。大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻博士後期課程修了。博士（日本語・日本文化）。日本語教育機関（法務省告示校）等における日本語教育に10年以上携わったのち、津山工業高等専門学校総合理工学部特命助教を経て現職。著書に『技能実習生と日本語教育』（大阪大学出版会、2021年、真嶋順子編著）、『技能実習生と日本語のリアル』（大阪大学出版会、2024年）等がある。

====

主催：「ベトナム探究によろこそ」講座

後援：大阪大学大学院人文学研究科・外国語学部

問い合わせ先：

大阪大学大学院人文学研究科 Phan Thi My Loan (ファン ティ ミー ロアン)

TEL 072-730-5280

E-mail ptmloan.hmt@osaka-u.ac.jp